



令和5年

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

塗りつぶしの日 は 休館です。



### 『はじめての絵本』

磯崎園子/ほるぷ出版/019.5 円

絵本ナビ編集長が、赤ちゃんから大人までの絵本との関係をじっくり考え、その年齢にしか味わえない絵本の楽しみ方を教える。月刊『こどもの本』連載に書きおろしを加えて単行本化。

4月23日は「子ども読書の日」です。子どもも大人も絵本の魅力を再発見してみませんか。



<p>『西洋書物史への扉』 高宮利行/岩波書店/020.2 効</p> <p>文字メディアは、どのように誕生したのか。印刷術の発明のどこが革命的だったのか。書物の読み方は、歴史の中でどう変化したのか。西洋の書物の豊かな歴史を訪ね、これまでとこれからを見つめるエッセイ集。</p>	<p>『君たちのための自由論』 内田樹/中央公論新社/159.7 円</p> <p>将来は“なんとなく”決めるべし！2人の個性派教育者による、「将来が不安」な若い人たちに向けた自由すぎるアドバイスとメッセージを紹介。書き下ろしを中心に『中央公論』等掲載を加え書籍化。</p>	<p>『江戸のキャリアウーマン』 柳谷慶子/吉川弘文館/210.5 円</p> <p>生家を離れ、単身武家へ奉公に出た奥女中。儀礼の差配、親族大名との交際、将軍家への使者など奥向から大名を支えた仕事に注目し、その働きやキャリア形成、老後の待遇に迫る。</p>	<p>『好きを生きる』 牧野富太郎/興陽館/289.1 円</p> <p>好きなことを追求して生きれば、人生がうまくいく。貧しさや困難の壁を乗り越えて、ひたむきに天真らんまんな生き方を貫いた日本の植物学の父、牧野富太郎の珠玉のエッセイ集。彼の一生の解説、年譜も収録する。</p>
<p>『すごい地球!』 地球の歩き方編集室/地球の歩き方/290.9 円</p> <p>神秘的カーテン「オーロラ」、世界最大の鍾乳洞「ソンドン洞窟」、2500以上の恐竜の足跡が残る「トロトロ国立公園」…。地球46億年の神秘とロマンを、旅の雑学とともに解説する。データ:2022年9~12月現在。</p>	<p>『人を動かす仕組みの科学』 マイケル・ホールズワース/ニュートンプレス/301 円</p> <p>人間の行動に隠された心理を活用する、行動科学の手法「行動インサイト」の基本や特徴などをわかりやすく解説。販売数の増加、納税遵守の改善など、行動インサイトが効果を上げた実例をあげ、実践法を紹介する。</p>	<p>『文章がすぐにうまく書ける技術』 上阪徹/日本実業出版社/336.5 円</p> <p>「書きたいこと」ではなく「相手が求めるもの」を書く、文章の「真の目的」をはっきりさせる、形容詞ではなく素材を並べるほうが説得力が高まる…。仕事の文章・ビジネス文書がうまく書けるコツを43個紹介する。</p>	<p>『戦略としての家庭マネジメント』 藏本雄一/ぱる出版/367.3 円</p> <p>仕事と家庭の時間管理術、家族を運営するチーム運営術、リスク管理術…。結婚後の夫婦のサポートを行うコーチングのプロが、仕事で成果を出すために家庭を円満にする5つのコツを紹介。</p>
<p>『大学生が狙われる50の危険』 三菱総合研究所/青春出版社/377.9 円</p> <p>SNSトラブル、ブラックバイト、カルト、キャンパス・ハラスメント、災害時のボランティア、就活サギ…。大学生生活にひそむ危険とその対応策を50項目に取りまとめ、イラストを交えて解説する。</p>	<p>『数字のセンスを磨く』 筒井淳也/光文社/417 円</p> <p>私たちは数字をきちんと理解し、数字ときちんと向き合っているだろうか。計量社会学・家族社会学を専門とする著者が、現代社会に欠かせない「数字との付き合い方」を示す。</p>	<p>『脳の間』 中野信子/新潮社/491.3 円</p> <p>ともすれば無意識の情動に流され、あいまいで不安な状態を嫌う脳の仕組みは、深淵にして実にやっかい。自身の半生と脳科学の知見を通して、現代社会の病理と人間の脳に備わる深い闇を鮮やかに解き明かす。</p>	<p>『世界のお酒図鑑』 地球の歩き方編集室/地球の歩き方/588.5 円</p> <p>ご当地酒をたしなむことは旅の醍醐味のひとつ。各国の地ビールやワイン、ハードリカー、カクテル等のお酒を、ちょっとした雑学とともに紹介。本場の味を体験できる日本の飲食店等も掲載。データ:2022年11月現在。</p>
<p>『はじめて作る小さな手まり』 木原小夜/ブティック社/594.9 円</p> <p>古の昔から伝えられてきた手まり。「二つ菊8等分」「梅」「三角薔薇」「かざぐるま」といったデザインの、小さな手まりの作り方を紹介します。ピアスやネックレスなどアクセサリへのアレンジ方法も掲載。</p>	<p>『母の味、だいたい伝授』 阿川佐和子/新潮社/596 円</p> <p>結婚もした、両親も看取った。残るは&lt;あの欲望&gt;だけだ。コロナ禍の中でも変わらぬ食欲と好奇心から生まれた風味絶佳なエッセイ集。『波』連載、『週刊文春』掲載を書籍化。</p>	<p>『はじめての花の寄せ植え』 井上まゆ美/ナツメ社/627.8 円</p> <p>複数の植物を組み合わせることで、より美しく豊かな世界を表現できる寄せ植え。季節の移り変わりに伴う変化も味わえ、長く楽しめる寄せ植えを提案する。植物の選び方、色の組み合わせのコツ、手入れなどの基本も写真で解説。</p>	<p>『ねこのおと』 西方由美/金木犀舎/726.6 円</p> <p>とんとんたつと身軽に降りる。ぱりぱり爪とぎ。思いっきりのびー。肉球ぶにぶに。足元に寄ってきてすりすり…。聞こえてくるよ、きみの「おと」。ねこの気配とぬくもりをぎゅぎゅっととじこめた、鉛筆画の絵本。</p>
<p>『絵付けの教科書』 有坂多絵子/誠文堂新光社/751 円</p> <p>陶芸初心者にとって習得が困難だった絵付けを、基本技法から応用技法まで順を追って説明。段階的にレベルアップできるように構成し、50のオリジナル図案も掲載する。絵付けの技法の動画が見られるQRコード付き。</p>	<p>『面白くて眠れなくなる日本語学』 山口謠司/PHPエディターズ・グループ/810.4 円</p> <p>現代日本語は人工的に作らざるを得なかった? 「一」の記号(長音符)が出来たのはいつ? 身近なのに意外に知らない、知ればとっても役に立つ、奥深い日本語の世界を巡る。</p>	<p>『ミライの源氏物語』 山崎ナオコーラ/淡交社/913.36 円</p> <p>ルッキズム、ロリコン、貧困、不倫、ジェンダー…。現代を生きる私たちは名作古典「源氏物語」をどう読めるか? 作家・山崎ナオコーラによる現代人のための「源氏物語」エッセイ。『なごみ』連載を大幅に加筆修正。</p>	<p>『からだの美』 小川洋子/文藝春秋/914.6 円</p> <p>イチローの肩、羽生善治の震える中指、ゴリラの背中、高橋大輔の魅惑的な首、貴ノ花のふくらはぎ、赤ん坊の握りこぶし。隠された美を掬い取り、やわらかに照らし出す随筆16篇。『文藝春秋』連載を単行本化。</p>
<p>『変容するシェイクスピア』 廣野由美子/筑摩書房/932.5 円</p> <p>シェイクスピア作品は、後世の作家たちによっていかにして新たな息吹を吹き込まれ、世界に知られるようになったのか? 児童文学や映画など、翻案作品を詳細に分析し、多様な魅力に迫る。</p>	<p>『盗作小説』 ジーン・ハンフ・コレリッツ/早川書房/933 円</p> <p>ベストセラー作家ジェイコブは新作が書けずいた。小説創作講座の受講生エヴァンが死んだことを知ったジェイコブは彼が語ったプロットを盗用して小説を書きベストセラーとなる。そこに何者かから脅迫メールが届き…。</p>	<p>『本売る日々』 青山文平/文藝春秋/F 円</p> <p>江戸時代。本を行商して歩く私が見たものは、本を愛し、知識を欲し、人生を謳歌する人びとだった。本屋の目を通して村と村が発展した在郷町の住人たちの、生き生きとした暮らしぶりを描く。『オール讀物』掲載を単行本化。</p>	<p>『4月1日のマイホーム』 真梨幸子/実業之日本社/F 円</p> <p>都内の分譲住宅に引っ越してきた5つの家族。だがある家から死体が見つかった。この土地にはかつてアパートメントがあり、大量殺人事件が起きたという噂が…。『Web ジェイ・ノベル』配信を加筆修正。</p>

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

図書館ホームページへ



行事予定は裏面へ

